

家族みんなで読みましょう。

縁をつなぎ、安心をとどけるお寺

清元院だより

第6号

清元院の本尊さま「釈迦牟尼仏」

本堂の正面にいらっしゃる清元院の本尊さまは「釈迦牟尼仏（お釈迦さま）」です。インドの方で二五六〇年前に八〇歳でお亡くなりになるまで、一人でも多くの人々が安らかな心で生きていくことができるよう生涯を捧げられた方です。

清元院も約五七〇年前にこの地に建立されて以来、十六代の住職がお釈迦さまと同じようにつとめてこられました。

現在、少子高齢化が急速に進み、学校や保育園が地域から姿を消しました。だからこそ今、お寺が地域の方向士、また地域と地域の方との縁をつなぎ、お寺に行けば誰かに会える、安心できる…そんな「縁をつなぎ 安心をとどけるお寺」になることが清元院の使命であることを心に刻み、これからも精進してまいります。

● 誌上法話・棚経について

● イベント

■ 「お寺で縁結び」など

● ピックアップ

■ はすとも募集 ■ お寺葬のススム

● おてらニュース

■ お大師講 ■ 写経・写仏の会

発行：曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之

佛歴2560年 平成29年8月1日

誌 上 法 話

じ ひ

「慈悲」の心

「慈悲」という言葉があります。仏さまが人々に樂を与え（慈悲）、苦しみを取り除くこと（悲）を意味する言葉です。

今年の正月に中学時代の同窓会があり、私の担任だったN先生を招待しました。でも先生は都合が悪いとのことで出席して頂けませんでした。後日、花束と皆で書いた寄せ書きを届けに先生のお宅におじゃましました。N先生は八十五歳でもなおお元気で、楽しい思い出話の時間はあっという間に過ぎました。そろそろ失礼しようとしたとき先生が、「この頃は、足が痛くてY君の墓参りに行けんようになってきてなあ・・・」と寂しげにおっしゃったのです。私はハッとしました。実は、私たちが中学3年生の時、元気で、しょうからだった同級生のY君が不治の病で亡くなりました。私たちは同級生百二十人全員で納骨を見届けY君に手を合わせたのです。その時、N先生はY君の担任でした。それ以来、先生は、なんと三十五年間休むことなく、毎年お盆と年二回のお彼岸にY君のお墓参りを続けてこられたのです。今ではY君のご両

親も亡くなり、お墓参りをするのは、ほぼ先生だけになってしまったとのことでした。

私は先生の行いに驚くと同時に、僧侶である自分がY君のことを忘れてしまったことを深く恥じたのです。私は寺にもどるとすぐ先生に手紙を書きました。「どうしてそこまでできるのですか。」とお尋ねしたのです。

翌日、N先生がお寺に私を尋ねて来られました。まだ手紙も届いていないはずなのにどうされたのかと不思議に思っていると、先生は「井上君、Y君の墓参りを頼めんかえ。」と、おっしゃいました。私に後を託したいと言われるのです。私は驚きながらもこう尋ねました。「先生、どうしてそこまでされるのですか」と。すると先生はこうおっしゃいました。「担任だったけえだが。少しでも彼の命に関わったけえだが。」と。

まさにN先生の行いは慈悲の姿そのものでありました。先生の行いで亡きY君もその家族の方もどんなにか心が楽になられたことでしょう。そして今、私自身も先生の行いに学び心を正すことができました。

私は先生に向かって手を合わせ「はい。お任せください。」と返事をしました。翌日、三十五年ぶりにY君の墓参りをして「来たで。今日からわしが来ることになったけえな。」とさっそく報告したのでした。

棚経について

	午前7時から	午後1時から
8月9日	大父	平田平→大父木地
8月10日	山川	山川木地
8月11日	国実	大熊
8月12日	金屋	竹内
8月13日	宮木→地区外（赤碕、東伯）	

【お願い】

- ☑ 仏壇の正面(おもて)の戸を開けておいてください。(閉まっている時は外から拝みます)
- ☑ 仏壇をきれいにして花を飾り、お供えをしましょう。
- ☑ 読経中はテレビを消し、一緒に手を合わせましょう。

※短時間で失礼しますが、相談事やお困り事があれば遠慮なく声をかけてくださいね。

※北栄・倉吉・米子・鳥取は別途連絡します。

おてらニュース

◆お大師講

今年も盛大に八十三体大集合！

六月二十一日に昨年に引き続きお大師講の復活法要をお勤めしました。今年には北栄町や東伯からもお大師さんを持ってこられて、八十三体のお大師さんが集まり大変にぎやかな法要となりました。まず、お大師さんの生涯をつづったDVDを視聴したあと、赤碕の永福寺畑田宥博副住職と宗派をこえて法要をお勤めしました。最後にイタリアのほう（鳥取）から来られたミスター・ジェラートさんのマジックショーで大笑いをしていただきました。



【参加者の声】

宮澤淳子さん * 竹内出身

この度、実家の兄の死去により清元院様とよりお近づきになり、お大師講が今年も開催されることを知り、出席させていただきました。

法要の時に方丈さまのお話を聴いて、大正時代に生きた「以西地区」の先人の皆さまが信仰心を持つことによって絆を深くし、喜びや悲しみを分かち合いながら、楽しみをもつて暮らしておられたのではないかと思いをはせました。同時にお大師さまを信仰し、冬になると近所の方々と何回か小豆島巡礼に出かけていた母の姿を思い出しました。

法要の後には、マジックショーも企画されていてびっくり。久しぶりに笑い転げました。最後の茶話会でも、たくさんの懐かしい方々とも交流ができて、とても満たされて帰りました。ありがとうございました。

◆写経・写仏・切り絵の会

一年間でのべ百人以上の参加！

昨年の四月から始めた写経・写仏の会が大変好評で、お檀家さんだけでなく他市町からも多くの方が参加されています。途中から仏さまの切り絵も活動に加え、自分の願いや祈り、能力に合わせて、自分で選んだものに取り組んでいただいています。

【参加者の声】

高力由紀子さん

写経には以前から興味を持っていましたが、大きなお寺や特別な場所でないといけないことと思っていました。お寺からお誘いを頂き、初めての経験と相成りました。

初日は仏様を写す写仏に、二回目は薬師如来を写仏、三回目は短いお経を写しました。最近では般若心経を写していますが、新しく始められた仏様の切り絵もやってみたくてです。集中すると気持ちがりフレッシュしますし、書き上げた瞬間にフツと小さく息を吐く時の充実感も好きです。お寺の厳かな雰囲気だからこそその体験だと思いい、毎回感謝しながら参加しています。書き上げると最後に、自分の身近な目標や家族への願い事などを書きます。願い事が叶うようにそつと言葉をとなくて完成です。和尚さまに朱印を押していただく文字の出来に関係なくすばらしい作品に変身します。

写経後の語らいの場も私の好きな時間です。地区外の方も多く参加されているので、以西にながらにして様々な方と出会い珍しい話を聞くこともできます。おいしいお茶やお菓子を頂きながら聞くのでなおさら楽しいです。旧知の人との思いがけない再会もありました。毎月第一日曜日午後三時、清元院に出かけてみませんか。



【住職のひとり言 6】「いいお葬式でした。」「いい法事を拝んでもらって。」とお礼を言われると、その方が、心を込めて故人を送ってあげられたのだなあ、故人を偲ぶことができられたのだなあと思う。葬儀や法事の良し悪しは僧侶のお経の良し悪しではありません。参列された方が故人へ心を込められたか否かで決まるのだと改めて思う今日この頃。。。さて自分は出来ているのかどうか（^_^）

お寺葬のススメ

年に数軒、清元院本堂で葬儀が行われます。本尊様の前に祭壇を置き荘厳かつ安価な葬儀となります。移動も少なく、仕上げのお膳をお寺で食べることもできます。皆さんの負担を減らし、地域の方にも足を運んでもらいやすく、故人に手を合わせ送ってもらいやすいなどのメリットがあります。

御朱印書きます

御朱印がブームです。御朱印帳をお持ちの方も多いことでしょう。ところで、清元院の御朱印をもっておられるでしょうか？御朱印は観光地や霊場だけでなく、どんなお寺でも書いて頂けるものです。清元院もいつでもお書きしますよ。お申し付けくださいね。

「はすとも」募集

今年も見事に蓮が咲きました。多くのみなさんに喜んでもらっていますので、もっと鉢を増やそうと思っていますが、そうすると住職一人では毎年の植え替えや管理が大変です。そこでみなさんと共に蓮友の会（「はすとも」）を結成し、蓮を育て、花を楽しみ、蓮をおすそ分けしたいと思います。みなさん「はすとも」に参加して蓮を楽しみましょう。



以西地区戦没者慰霊祭

■平成 29 年 8 月 15 日(火) 11 時～
*申込みは清元院へ（8 月 11 日〆切）

永代供養墓見学会

■平成 29 年 8 月 20 日(日) 13 時半～
*お気軽においでください。丁寧に説明いたします。

秋彼岸先祖供養

■平成 29 年 9 月 23 日(土) 8～16 時
*塔婆を書き読経して供養します。

月あかり茶会

■平成 29 年 9 月 30 日(土)19～21 時
*ロウソクの灯りやライトアップで室内や庭園を楽しみ、抹茶、桜茶、中国茶などを楽しみましょう。

お寺で縁結び

～一生のご縁をお寺で見つけないか？～

- 平成 29 年 10 月 9 日(月)体育の日
12 時半～17 時半
- 場所 清元院
- 対象 20～45 歳くらいの独身男女



*詳細はお寺にお問合わせください。

写経・写仏・切り絵の会

■毎月第 1 日曜日 15 時～17 時

坐禅会

■毎月第 3 日曜日
4～9 月 5 時半～7 時
10～3 月 6 時～7 時半

お寺ヨガ

■毎月第 3 水曜日 19 時半～21 時

